

天理市観光協会設立60周年記念

「大和の中のヤマト」シンポジウム in 東京国立博物館

ここまで判った物部氏

—考古学の調査研究成果から—

「物部氏」は大和(奈良県天理市付近)と河内(大阪市八尾市付近)に本拠を構えたとされる古代豪族で、
両地域を核に一大勢力を築き、ヤマト王権を支えた。

587年、物部守屋は蘇我氏との争いに敗れるが、その後も「物部氏」は大和の地に根を張り続ける。
本シンポジウムでは、石上神宮、布留遺跡、杣之内古墳群、石上・豊田古墳群などを組上に載せ、
考古学の調査研究成果から「物部氏」の実像に迫る。



◀布留遺跡の大溝

▲史跡西山古墳

日時

平成30年3月4日(日)

10:00~16:00(開場:受付/9:30)

会場

東京国立博物館 平成館:大講堂(1階)

コーディネーター / 池田 保信 氏 (埋蔵文化財天理教調査団:主任)

講師 / 桑原 久男 氏 (天理大学文学部:教授)

池田 保信 氏 (埋蔵文化財天理教調査団:主任)

古谷 毅 氏 (京都国立博物館学芸部:主任研究員)

中久保 辰夫 氏 (大阪大学埋蔵文化財調査室:助教)

石田 大輔 氏 (天理市文化財課:主任)

寺前 直人 氏 (駒澤大学文学部:准教授) / パネルディスカッション:司会

◀七支刀表面



主催 / 天理市観光協会 後援 / 天理市、奈良県、(一財)奈良県ビジターズビューロー、歴史街道推進協議会